

ご挨拶

| Greeting



徳島大学病院長
香美祥二

大学病院の使命は、県内唯一の特定機能病院として、1)安全で安心な高難度医療や低侵襲医療を提供し、2)先端医療の開発と推進に取り組み、3)すぐれた医療人を育成するとともに、4)地域医療へ貢献することです。この冊子は徳島大学病院における各診療科および各部門・センターの特色や最先端の治療、スタッフ構成を具体的にお知らせするために作られたものです。また、医科歯科連携、多職種連携で行われている大学病院ならではのチーム医療についてもご理解いただけるものと思います。地域医療を担う医師のキャリア支援や診療部の活動も記載しています。

医療教育では、すべての医療人の専門性(知識、技術)向上を進めるために、キャリア形成支援センター、卒後臨床研修センターを中心に教育研修プログラムの充実を図っています。スキルスラボ、クリニカルアナトミーラボ、メディカルトレーニングラボを利用した実践的研修も好評です。看護師特定行為研修センターでは15区分が習得でき、領域別パッケージ研修3つ、オリジナルコース2つを開講しています。今後益々高度化するチーム医療の現場で、特定看護師がチーム医療のキーパーソンとして活躍する場面が増えてくることが期待されます。

診療面では本年度から新型コロナウイルス感染症は通常診療で対応することになりました。一方、国からはコロナ後の新興感染症対策を見据えた中核病院と地域医療機関の連携強化が求められています。感染制御部は感染症サーベイランス機能(JANIS,J-SIPHE)を活用し、関係医療機関における感染症対策指導や医療人の感染管理能力の向上に努めております。当院のロボット手術やハイブリッド手術室を利用した低侵襲手術件数は国内トップクラスの実績を誇ります。最近では、ロボット手術や顕微鏡手術にARナビゲーションを組み合わせることでより正確で安全性を高めた世界最先端の手術に取り組んでいます。

安全な医療を実践するには、医療の質を数値化した上で他施設との比較を行い絶えず改善策を図ることが重要です。安全管理部に専任教授を配置しクオリティーインディケーター(QI)室を設置しました。数値化した指標はHPに掲載しており、当院医療の質評価や透明化に役立てています。令和5年度(2023年度)に徳島大学病院は創立80周年を迎えました。そこで当院は、『徳島大学病院創立80周年記念 世界に誇れる最新医療』を発刊しました。患者、家族、関係者の皆様に向け大学病院医療を分かりやすい言葉で解説しています。受診や診療連携の一助にできれば幸いです。

今後も当院は、地元へ根ざした患者第一(patient first)の医療を実践し、県民、国民のwell-being向上に資する先進的な医療を実践することで、皆様に信頼され愛され、かつ、世界に誇れる徳島大学病院を目指します。引き続き皆様のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

基本理念と目標 / 看護の理念 / 臨床研修の理念・基本方針 / 患者の皆様の権利と責務

| Philosophy

基本理念

生命の尊重と個人の尊厳の保持を基調とし、先端的で、かつ生きる力をはぐくむ安全な医療を実践するとともに、人間愛に溢れた医療人を育成する

目標

人間尊重の
全人的医療の
実践
生命科学の正しい理解と生命の尊厳に対する深い認識に立脚し、疾患に悩む人の人格を尊重し、全人的医療を安全に実践する

高度先端医療の
開発と推進
先端医学・歯学研究の推進を通じて高度先端医療の開発および実践を安全に進めることにより、人類の健康増進に寄与する

高い倫理観を
備えた医療人の
育成
すべての医療活動において、常に個人の人格や権利を真摯に考え、尊重し、献身的な思いやりを持った医療人を育成する

地域医療および
社会への貢献
社会に開かれた病院として、地域医療機関との密な連携、国内外との人的交流の促進、あらゆる組織との共同研究の推進を通じて社会貢献を行う

看護の理念

私たちは、常に生命、人格、権利を尊重することを看護の判断、行動の基本とするとともに、社会環境の変化、医療の進歩に対応した安全でより良いケアを提供します。

臨床研修の理念・基本方針

理念

医療人としての人格と倫理性を涵養し、全人的な診療能力を有し、医学・医療の社会的ニーズを認識できる医療人を育成する

基本方針

人間尊重の
全人的医療の
実践
すべての医療活動において、常に個人の人格や権利を尊重し、思いやりのある全人的医療を実践し、プライマリーケアの基本的診療能力(態度、技能、知識)を身につける

チーム医療の
実践
多職種が連携した実践診療の中で職種間の相互理解を図りチーム医療を実践する

教育機関として
次世代のリーダー
の育成
主体的に診療に参加する体制のもと専門性の高い医療を経験し、また研究倫理や臨床研究の仕組みを理解する

地域医療および
社会への貢献
研修協力病院・協力施設と連携することで医療人としての知見を深め、在宅医療・介護から先進医療までを理解できる医療人を育成する

患者の皆様の権利と責務

権利

個人としての人格や価値観が尊重される医療を受ける権利があります。

- 適切で良質な医療を公平に受けることができます。
- 診療内容について情報の提供を受けることができます。
- 医療・看護について十分な説明を受けた後、医療・看護を「受ける」、あるいは「受けない」という選択をすることができます。
- 診療の過程で得られた個人情報及びプライバシーは保護されます。
- 教育実習や研究に対する協力は断ることができます。
- 医療・看護・福祉などについて相談することができます。

責務

最善の医療を受けていただくためには次のような責務があります。

- ご自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に対して提供してください。
- ご自身の病気を治すために、自ら決定した治療方針に沿って、医療者と共に病を克服する姿勢で取り組んでください。
- よりよい療養環境で医療が受けられるように、医療者の指示と病院内でのマナーを守ってください。

患者の皆様へ

| To Patients

本院では、医療の教育研究と社会貢献を担うことを目的とし、患者の皆様の意思を尊重した上で診療を通して、優れた医療人の育成と医療の発展に貢献しています。

つきましては、医療系学生の臨床教育の一環として、患者さんの診療に立ち会う場合や、病歴聴取や診察にご協力をお願いする場合がございます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

TOKUSHIMA
UNIVERSITY
HOSPITAL
2024